

追手門学院小学校の4月

追手門学院小学校 校長 井上 恵二



学校は新型コロナウイルス感染症のため、子どもたちの通学ができていませんでした。先生方は子どもたちに教材を送る準備や Webで教材を配信する準備で毎日奔走していました。職員会議も3密を避けるために遠隔会議システムを活用し、その遠隔会議システムを利用して、家庭にいる子どもたちとも話せるよう、仕組みの構築を進めました。このような大変な中でも、メディアラボ北東角に植えた山桜は例年と変わらずきれいに花を咲かせました。この山桜は、創立130周年にご寄付いただいた記念に山桜エントランスのシンボルツリーとして植えられたものです。花見ができない春でしたが、今の状況を乗り越え、山桜の成長と共に新しい歴史を刻んで行きたいと思います。



第137期 入学を祝う会

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、4月9日の入学式を中止することになりました。その後も在宅学習、分散登校など通学も儘ならない小学校生活の始まりとなりましたが、児童、保護者の方々に少しでも入学の喜びを感じてもらいたい、教職員や在校生の歓迎の気持ちを伝えたいという思いから、6月17日に「入学を祝う会」を実施いたしました。初々しく現れた1年生に大きな拍手が送られ、児童会から歓迎の言葉が述べられました。天候にも恵まれ、青空と緑輝く運動場で、ほのぼのとした素敵な「入学を祝う会」となりました。夕方のニュースでTV放映されたので、そのことも良い記念になったと思います。



体育参観・文化ウィーク

2020年は小学校の2大行事の秋季体育大会、文化祭が中止となりました。しかし、子どもたちには“コロナだからできない”ではなく、“コロナだったけれどもこんなことができた”を感じてもらえるような2学期にしたいと考えました。そこで、学年ごとに3～4種目の競技を行う体育参観日を設けました。保護者の皆様には子どもたちの成長の様子をご覧いただけたと思います。学年ごとのクラス得点を日ごとに加算していき、最終日には「い組」の優勝も決まり、大いに盛りあがることとなりました。また、文化祭に代わる行事として、学校内外にしているいろいろなプロの技を鑑賞する文化ウィークを設けました。本物に触れる感動は、子どもたちにはとても良い刺激になったと思います。心の底から出てくる笑顔や歓声、手拍子を見ることができました。



お越しいただいたプロの皆さん：落語家(月亭希遊氏)・音楽家(加藤完二氏・松本(旧姓：辰田)有理子氏・栗コーダーカルテット)・けん玉(ずーまたんげ)・スタッキング(SEOPPI)・なわとび(なわとび小助・ふっくん)・パトン(駒田圭祐氏・渡辺翔史氏)・科学ショー(Kibito)・俳句指導(夏井いつき氏)